



令和 7 年度 第 3 号

(東南おきたま版)

令和 7 年 9 月 1 日

おきたま 雪若丸だより

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 置賜地域本部 置賜・西置賜農業技術普及課

刈取り早まる！適期刈取りで高品質の「雪若丸」を！

- 圃場ごとに刈取り時期を見極め、適期内（950～1,200℃ **7/30 出穂では到達日：9/5～9/16**）に刈り終えるよう、計画的に作業を進めましょう！
- 出穂期の早晩や籾数の多少で、登熟進度に差があります。圃場ごとに適期を見極め、刈遅れに注意しましょう。

1 雪若丸の刈取時期の目安（刈取り目安の積算気温は前倒ししない！）

品種名	出穂期	積算気温（℃）	刈取り時期の目安	刈始めの青籾歩合
雪若丸	7月30日	950～1,200	9月5日～9月16日	20%

※ 8月28日まで本年値、9月20日までは2週間、1ヶ月予報による予測値、以降は平年値を使用（アメダス高畠）。

- 刈取り時期は出穂後積算平均気温を目安に、ほ場ごとに**①青籾歩合（20%）②籾水分（25%以下）③枝梗の黄化（3分の2以上）**等を確認して判断しましょう

2 「雪若丸」穂揃期の生育状況

- 管内の雪若丸の出穂は7月30日頃の出穂となりました。
- ㎡あたり籾数は少ない～多く、葉色は平年に比べやや濃くなりました。

農業技術普及課 生育診断圃 穂揃期の生育・登熟状況

地域	年次	出穂期	穂数 (本/㎡)	1 穂籾数 (粒)	㎡あたり籾数 (百粒/㎡)	登熟状況 8/26 現在(%)
高畠町	R7	7/29	501	59.8	300	71.4
山崎	平年比・差	-3 日	94%	101%	95%	-4.2%
飯豊町	R7	7/31	603	55.2	333	64.9
椿	平年比・差	± 0 日	98%	90%	89%	+21.3%

3 乾燥・調製は慎重に！

- 収穫後は速やかに乾燥機に張り込むことが基本です。すぐに乾燥できない場合には通風を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。
- 高水分籾（水分 25%以上）の急乾燥は胴割れを助長するため、青籾が多い（籾水分のバラつきが大きい）場合は「水分の戻り」を意識した「夜間休止乾燥」や「二段乾燥」を行いましょう。
- 立毛中に胴割粒が多いと予想される場合は、通常の送風温度より 5～10℃低めの送風を行い、毎時乾減率を 0.6%以下とし、胴割粒増加を防ぎましょう。
- 籾すり前に籾温や籾水分を確認します。雪若丸は他品種より大粒であるため、必ず試しずりをして、適正なロール幅に調整しましょう。**
- 雪若丸の特性を最大限に引き出すため、1.95 mm網目（推奨）で選別します。**
- 斑点米カメムシ類による着色粒や白未熟粒が発生した場合には、色彩選別機を活用し、品質向上に努めましょう。